

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成24年1月19日(2012.1.19)

【公表番号】特表2011-505467(P2011-505467A)

【公表日】平成23年2月24日(2011.2.24)

【年通号数】公開・登録公報2011-008

【出願番号】特願2010-536126(P2010-536126)

【国際特許分類】

C 08 G 64/02 (2006.01)

C 08 G 64/30 (2006.01)

【F I】

C 08 G 64/02

C 08 G 64/30

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月21日(2011.11.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0054

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0054】

実施例22C～E

Dowex(登録商標)50×8-200イオン交換樹脂触媒サイクル：ナンバー3～5  
ナンバー2(実施例22B)の上記の手順の後、サイクルを連続数続け、プロトンMRにより材料を分析した。以下の表にその結果の一覧を示す。

【表8】

実施例	サイクル	時間(Hr)	変換率(%)	時間(Hr)	変換率(%)	n(最終)
22A	1			17	87.54	2.64
22B	2			約70	98.43	7.60
22C	3	6.0	30.72	22	74.62	2.88
22D	4	6.0	11.27	22	46.54	1.22
22E	5	6.0	8.72	22	38.25	2.12

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0055

【補正方法】変更

【補正の内容】

**【0055】**

以上、本発明を要約すると下記のとおりである。

1. 非置換またはR置換ポリ(トリメチレンカーボネート)グリコールを製造する方法であって、1つ以上の溶剤の存在下、非置換またはR置換トリメチレンカーボネートを、触媒としての酸性イオン交換樹脂と、溶剤の凝固点から摂氏約30度までの範囲内の温度で接触させて、非置換またはR置換ポリ(トリメチレンカーボネート)ジオールを含む反応混合物を形成させることを含む、上記方法。

2. トリメチレンカーボネートが、非置換トリメチレンカーボネートである上記1に記載の方法。

3. イオン交換樹脂が、ジビニルベンゼンで架橋されたポリ(スチレンスルホン酸)を含むイオン交換樹脂からなる群から選択される上記1に記載の方法。

4. イオン交換樹脂が、(テトラフルオロエチレン/パーカルオロ(4-メチル-3,6-ジオキサ-7-オクテン-1-スルホン酸)コポリマーである上記1に記載の方法。

5. 溶剤が、非置換またはR置換トリメチレンカーボネートおよびイオン交換樹脂と実質的に非反応性である上記1に記載の方法。

6. 実質的に非反応性の溶剤が、塩化メチレン、トルエンおよびジオキサンからなる群から選択される上記5に記載の方法。

7. 非置換またはR置換ポリ(トリメチレンカーボネート)グリコールを単離することをさらに含む上記1に記載の方法。

8. 上記1に記載の方法により製造される非置換またはR置換ポリ(トリメチレンカーボネート)グリコール。

**【手続補正3】**

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

非置換またはR置換ポリ(トリメチレンカーボネート)グリコールを製造する方法であって、1つ以上の溶剤の存在下、非置換またはR置換トリメチレンカーボネートを、触媒としての酸性イオン交換樹脂と、溶剤の凝固点から摂氏約30度までの範囲内の温度で接触させて、非置換またはR置換ポリ(トリメチレンカーボネート)ジオールを含む反応混合物を形成させることを含む、上記方法。

【請求項2】

請求項1に記載の方法により製造される非置換またはR置換ポリ(トリメチレンカーボネート)グリコール。